



2026年5月25日

各位

会社名 株式会社フライヤー
代表者名 代表取締役 CEO 大賀康史
(コード番号：323A 東証グロース市場)
問合せ先 取締役 CFO 望月剛
(TEL 03-6212-5115)

上場維持基準への適合に向けた計画（改善期間入り）について

当社は、2026年2月時点において、グロース市場における上場維持基準に適合しない状態となりました。下記のとおり、上場維持基準への適合に向けた計画を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準への適合状況及び改善期間

当社の2026年2月28日（以下、「基準日」といいます。）時点における東京証券取引所グロース市場の上場維持基準への適合状況は、下表のとおりとなっており、流通株式時価総額については基準に適合しておりません。当社は、今回不適合となった流通株式時価総額を充たすために、上場維持基準への適合に向けた各種取組みを進めてまいります。

なお、2027年2月28日までの改善期間内に適合していることが確認できなかった場合には、東京証券取引所より監理銘柄（確認中）に指定されます。その後、当社が提出する2027年2月28日時点の分布状況表に基づく東京証券取引所の審査の結果、流通株式時価総額基準に適合している状況が確認されなかった場合には、整理銘柄に指定され、当社株式は2027年9月1日に上場廃止となります。

区分	流通株式時価総額	参考：流通株式比率	参考：流通株式数	参考：株主数
当社の適合状況(基準日時点)	456百万円 (不適合)	29.05% (適合)	9,933単位 (適合)	1,223人 (適合)
上場維持基準	500百万円以上	25%以上	1,000単位以上	150人以上
改善期間	2027年2月28日まで	—	—	—

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出及び東京証券取引所より受領した「上場維持基準への適合状況について」から転記したものです。

2. 上場維持基準への適合に向けた取組みの基本方針、課題及び取組み内容

(1) 基本方針

当社は、東京証券取引所グロース市場における上場を維持することを目指し、持続的な成長と企業価値の向上に資するための事業活動に取り組むことにより、当社株式の魅力を高め、投資家の皆様が当社株式に投資しやすい環境を整えることで、投資家層の拡大と時価総額の増加に取り組んでまいります。当社が東京証券取引所グロース市場における上場を維持することは、当社の今後の成長のために必要不可欠な要件であり、そのために取りうる施策を検討し、実行してまいります。

(2) 課題

当社の流通株式時価総額が基準に適合していない主要な要因は、資本市場における当社の市場評価（株価）の水準が低迷していることにあると認識しております。

当社の株主数、流通株式数、および流通株式比率につきましては、東京証券取引所グロース市場の上場維持基準を十分に満たしております。しかしながら、当社の近年の業績進捗や中長期的な成長可能性に対する可視化、ならびに資本市場への情報発信（IR活動）が必ずしも十分に行き届いていなかったこと等から、当社の企業実態と市場評価（株価）との間に乖離が生じ、算定期間における平均株価が低迷いたしました。その結果、流通株式時価総額が基準に一步届かない状態となっております。したがって、本基準の適合に向けた本質的な課題は、「持続的な事業成長の実現」と「資

本市場との対話・情報開示の充実」を両輪として進め、当社の企業価値に対する市場の評価（株価）を適正な水準へと回復・向上させることであると認識しております。

(3) 取り組み内容

当社は、上記の課題を迅速に解決し、改善期間内における流通株式時価総額基準への早期適合を図るため、以下の取組みを着実に実行し、企業価値ひいては時価総額の増大を目指してまいります。

① 事業成長の推進による収益力（株価基盤）の強化

市場評価（株価）の土台となる収益力を高めるため、既存事業の選択と集中、および収益性の改善に向けた施策を迅速に実行いたします。当社の今後の成長戦略やマイルストーンを明確にした「事業計画及び成長可能性に関する説明資料」等の内容に沿って、経営資源を重点分野に集中投下し、持続的な売上高および利益の拡大を達成することで、資本市場からの本質的な評価の向上（株価の向上）を図ります。

② 中長期方針・成長戦略に関する情報開示の充実

当社の事業内容や中長期的な成長のポテンシャルを投資家の皆様に適正かつ比較可能な形で評価していただくため、情報開示の拡充を検討いたします。具体的には、決算説明資料・補足資料において、主要施策の進捗や収益性向上に向けた考え方等の開示項目を体系化・追加し、投資家の理解促進を図ります。

③ IR活動の強化（投資家との継続的かつ建設的な対話の充実）

株価の適正化に向けて、投資家層の拡大を促すコミュニケーションを強化いたします。四半期ごとの決算情報の適時開示に加え、機関投資家、アナリスト、および個人投資家の皆様を対象とした決算説明会や面談の機会を定期的に設けてまいります。当社の成長戦略や中長期的な価値創出の考え方について丁寧な説明を継続することで、株式市場における評価の改善につなげてまいります。

3. その他

当社の今後の成長戦略について、「事業計画及び成長可能性に関する説明資料」において説明しておりますので、あわせてそちらをご覧ください。

以 上